

各位

公益財団法人 日本英語検定協会

2015年度 第1回実用英語技能検定一次試験より成績表示が変わります — 合否に加えて「英検 CSE スコア」と「英検バンド」を併記 —

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下、「英検協会」）は、2015年度第1回実用英語技能検定より、成績表に「英検 CSE スコア」と「英検バンド」を併記することを発表いたします。

1963年（昭和38年）に実用英語技能検定は産声をあげました。以来、多くの英語学習者の皆様にご活用をいただいております。急ピッチで進む我が国の英語教育の改革の動きと受験者のニーズに応じ、従来の合格／不合格の表示に加え、この度、英検 CSE スコアと英検バンドを併記することで、英語学習者や指導者の皆様に、よりご活用いただきやすい充実した成績表としてまいります。

【2015年度第1回実用英語技能検定の個人成績表のイメージ】

参考情報として英検 CSE スコアと英検バンドが表示されます

162-8055
東京都新宿区横寺町 55
英検 さくら様

英検 英検大学
〒162-8601 東京都新宿区西新宿 5-5-5
英検大学 英検ビル5F
地下鉄丸の内線、丸の内線、丸の内線、丸の内線

氏名 英検 さくら
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 英検大学
〒162-8601 東京都新宿区西新宿 5-5-5
英検大学 英検ビル5F
地下鉄丸の内線、丸の内線、丸の内線、丸の内線

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

英検 さくら様
英名 SAKURA EIKEN
受験級 準2級
総合得点 55
満点 75
今日の合格点 42
合格者平均点 51
全体的平均点 40

【英検 CSE スコアの個人成績表表記の背景】

最近の英語学習では、幼少期から「読む」・「聞く」・「書く」・「話す」の4技能を総合的に習得することが求められています。また大学入試では、実用英語技能検定をはじめとする外部の資格・検定試験の活用の動きが本格化しています。

そうした背景の中で、英検協会では、英語学習の初期段階から生涯にわたり、継ぎ目のない一貫したスコア尺度を開発する必要性を認識し、昨年2014年9月、一般財団法人日本生涯学習総合研究所とともに、国際基準規格の*CEFR(欧州言語共通参照枠)との関連性を持たせた、ユニバーサルな新しいスコア尺度「CSE (Common Scale for English)」を発表いたしました。

*CEFRとは、Common European Framework of Reference for Languages の略。語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際基準規格。欧米で幅広く導入され、6つのレベルが設定されています。

今年度はひとまず、ウェブサイト上に「英検 CSE スコア換算サービス」をアップし、そこに受験者自らが成績表に記載された各技能の素点を入力し、ご自身で英検 CSE スコアをご換算いただいておりますが、来年度の第1回実用英語技能検定からは個人成績表に英検 CSE スコアを記載させていただき、こうしたご不便を解消させていただくことにいたしました。

【英検バンド導入と個人成績表表記の背景】

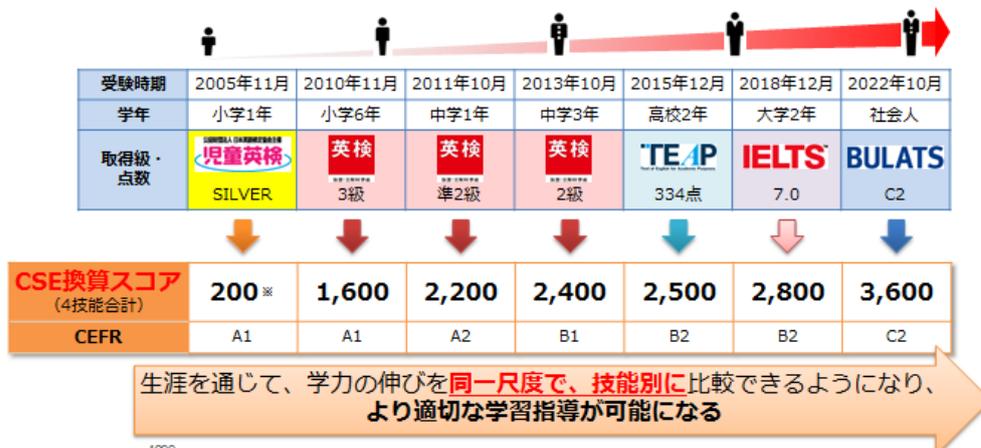
段階的な実用英語技能検定の級取得を目的とした英語学習の促進は学習者のモチベーションを促進するには合理的な仕組みで、一定の成果を出してきたと英検協会は認識しております。

しかしながら、上位級になるにつれ徐々に難易度が上がり、複数回のチャレンジが必要になる場合もあります。この場合に、自己の能力向上の目安として、CSE のスコアを活用いただくことも可能です。しかしながら、このスコアという概念は誰かが共通の特定の目標値を設定しないと、受験者共通の段階目標とはなりにくい特性があります。

CSEの展開

CSEによって可能になること

例えば A さんが成長にともない、さまざまな試験/級を受けた場合でも…



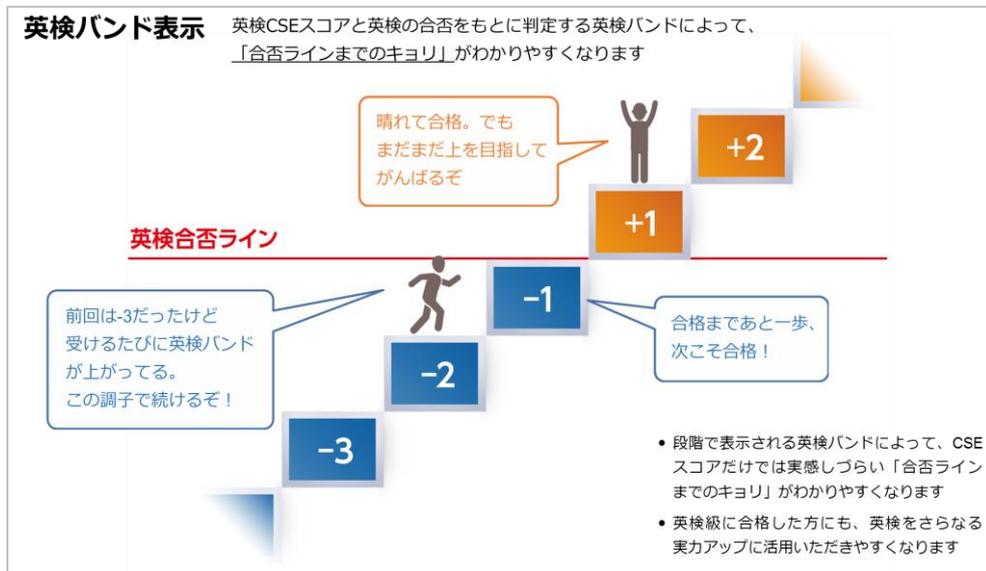
(注) 児童英検はリスニング1技能のみのスコア算出。上記はイメージ

そこで、英検協会では、各級を目標とした英語能力の中間目標段階を明示する為に、「英検バンド」という概念を開発いたしました。

また、この英検バンドは、各級に合格した場合にも、「高いレベルで合格したのか」、「ぎりぎり合格したのか」等を知ったり、比較したりする目安ともなります。特に実用英語技能検定1級に関しては、より高い素点(満点)を目指して複数回受験する人もいますが、この英検バンドはこの様な高みを目指す学習者にとっていい目標になります。

英検バンドとは、このように、受験者のモチベーション向上を図る目的で導入したもので、合格と不合格を連続的に幅で捉えた指標です。それにより、自身の受験結果と合格ラインまでの距離が明確になります。また各級の英検 CSE スコアを 25 点刻みで細かいバンド(带状)に分割し、どの位置にいるのかを示します。なお表記方法として、あらかじめ定めた合格ラインからの差を+/-で表現しました。

【英検バンドのイメージ】



【英検 CSE スコアと英検バンド導入による効果】

英検 CSE スコア導入により、受験者の皆様にとりましては、合格に関わらず、各技能別の能力を定量的に把握でき、それにより伸ばすべき技能が分かり、4 技能をバランスよく習得できるようになります。指導者の皆様にとりましては、生徒一人ひとりにあった適切な学習アドバイスができるのと同時に、「ひとつ上の級まであとどのぐらいのスコアが必要か」が明確となり、英検受験の際に適切な級を勧めることが可能となります。

一方、英検バンド導入により、たとえ結果が不合格であっても、学習意欲が削がれることなく、モチベーションを維持したままに継続した英語学習を進めていくことが可能となります。また合格者におきましては、さらなる上位級をめざして実力アップに向けてご活用いただけます。

以上、合否に加えて英検 CSE スコアと英検バンドをそれぞれ成績表に記載させていただくことで、まずは受験者の皆様には、技能別と総合的な英語能力の伸長度が分かりやすくなります。また指導者の皆様には、各生徒の伸び、学校全体の伸びが把握でき、それぞれの学習計画をより緻密に立案いただけます。

このように受験結果をより細かくご提供させていただくことで、皆様の日頃の学習やご指導に最大限お役立ていただくことが英検協会の願いです。

今後とも、その時代時代に即した次世代の英検へと飛躍を遂げるべく、英検協会は進化し続けてまいります。